

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 綴文

いろんな考えがあるから面白い
いろんな人がいるから楽しい

No. 643

2023年2月 **刊**

編集・発行 鈴木厚正

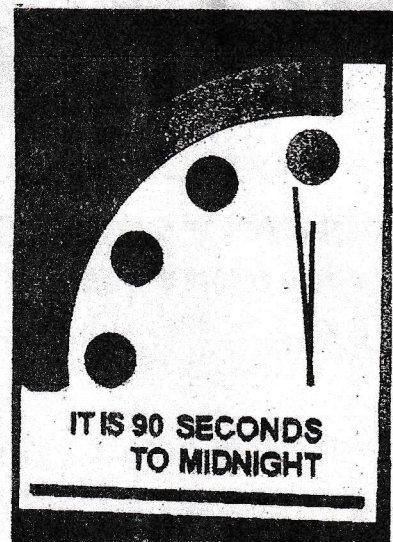
〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- 最近の原発問題を考える 2
- 青春時代の思い出 4
- 英雄の名はハトロフ中佐 5
- 「会話を哲学する」ほか 6
- 古便利から 10
- サイの神 13
- 山仕事(1月、大平、島田) 18
- 函館三日 22
- マインドコントロール 26

「終末時計」最短



アメリカの科学誌『原子力科学者
会報』が毎年発表する、地球が破滅
するまでの残り時間を示す「終末時計」。
1月24日に発表されたのは、これまでで

この見本 最短の90秒。

「読んでみようか」という方は、

年会費 4,000円を

郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 申し込み下さい。

月 日 現在の
会員数 210名

題 字 故 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト 故 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ R330

※ この号の切手は 自然の記録③

山仕事(1月、大平、島田)

実をいうと、1月半ばから体調が悪かった。仙台で牛たんを丸のみしたせいかな。サイの神で日の照らない寒空に一日居たためか、胃腸が動くのをやめた。それでも食べるのをやめないものだから、腹の膨満感が増した。おまけに息苦しさがあり、足が重い。出かける前の17日、久しぶりにテニスをしたが、調子がよくない。

1月19日(木)、晴—くもり—晴。

この日、敷地駅で正士さんと共に迎えてくれたのは、いつもの久米さんではなく宍屋千づるさんと熊谷道子さんだった。長野との県境にある水窪(みさくぼ)町から、昔乙女4名が来てくれたのだ。中谷さんと竹中さんは、お米の計量と包装を手伝っていたようだ。

深澤明男・富士川さんの豊岡農場に行き、青島シオンを沢山いただく。このあと出てくる「はるみ」は品薄で、2箱申し込んだ山崎さんは、1箱でがまんすること。

買物は後にわし正士さんちへ。座敷で4人が用意してくれたご馳走をいただく。

(魚) 小豆ごはん、ワシの丸干し、黒豆、酢和之(なます)、きんぴら、ホウレンソウのごま和之、ワサビの茎、おさい(大根、ゴボウ、人参、豆腐、刻みコンブ、はんぺん、竹輪、こんにゃく、シタケの煮物)に、板餅のお汁粉。



食後は三組に分れる。伊藤康江、原田さんは買物、4人乙女は茶園のツルとり、山ちゃんとは裏山の間伐、正士さんは今日、明日二日分のソバ打ちだ。

山ちゃんと二人、それぞれチェーンソーととがロ、ロープなどを持って裏山へ。昨秋の大雨で敷地川の岸が洗われ、上に上がるのに苦勞する。足がだるく日暮れも迫る。数本伐って終りにした。家に戻る坂道で、三度ほど息を休めた。

その間に久米さんが見え、水窪の4名は夕方帰宅。ご馳走さま。

夜、青山忠義さん袴田克己さんが見える。只今、康江さんは青山さんの肖像画を制作中で、何度も顔を描きこんでいる。

(夕食) 昼の残りにタイの刺身、ナマコの酢の物(昔、^{くにさき} 回東半島で井一杯たべたが、今はタイ)、白菜とシラスの和之物に正士さんの手打ちそばをスミさんのだしでかきそばで。

食後、思いがけないことが。ぼくの誕生祝いをしてくれるという。内田美知子さんから届いたパウンドケーキに、ロウソク代わりにロウバイの花を刺し、ハッピーバースデーと合唱してくれた。ケーキのほかに康江さんから山口名産のカマボコとゴボウまきが。雑報 64号 25ページの「金頭(かねがしら)」は、ホウボウのことと山ちゃんが教えてくれた。夜、咳が止まらず困る。

1月20日(金)、晴れ、風。この日、加藤いつみ、若林さんが参加。

正士さんの軽ワゴンに上記二人と山ちゃん、スミさんの車に康江さん、英ちゃん、重転の道具を積んだ軽トラックにぼくがのり、一年ぶりに大井川を渡った島田市の小澤牟枝(すずえ)さん宅へ。

手始めに枯れたオリーブの整理。かなり大きく、英ちゃんが上へのぼって枝を落とす。下でそれを小さく刻む。

次に、入り口脇の斜面に立つコナラとヒメシャラの伐採。さして太くはないが、倒すと前の道路をふさぐ。そのうちコナラの木に添うように電話線の鉄柱が立ち、電話線の上に枝がのびている。その枝は若林さんが高枝切り鋸で切ってくれた。コナラに梯子をかかせる。足元が傾斜しているので梯子が安定しない。加藤さんにおさえてもらい、梯の上部をコナラの幹に絡りつくる。根元から伐ると道路の幅一杯をふさぐので、なるべく上で伐る。切る部分の上にロープをつけ、下で皆に引いてもらう。車が通らないのを確認してもらい、小型のチェンソーで一丈に切る。ロープを引いてもらったので、電話線にかからず落ちてくれた。それで、道路の半分ほどをふさいだ。皆が素早く枝を切り離して敷地内に運ぶ込み、小さく刻む。幹や太い枝は、シタケの原木用に/mに切る。



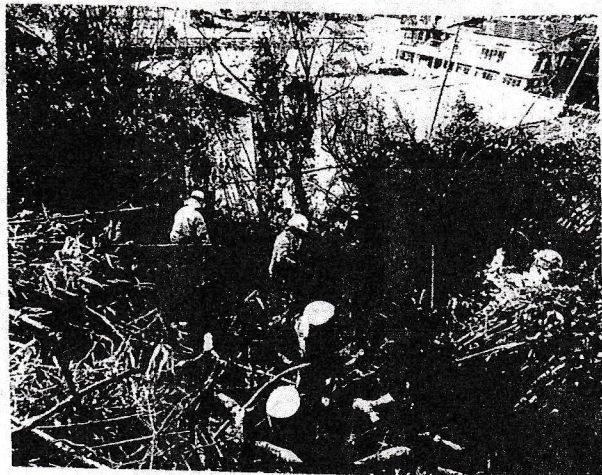
もう一本のヒメジャラも伐ると一部道路にかかると高さがあり、山ちゃんが高いところ
で切ってくれた。同様に処理する。

昼食は、小澤さんと友人の長谷川さん
に原江さんが加わり、調理してくれた。
沢山のご馳走が並び、覚えきれないので写真とご覧ください。食後は抹茶
が振る舞われた。



ご馳走さま

午後は一段高い畑のまわりの樹木
と草の整理。崖に生えた木はフシヤ
アケビのつるがからみ、切っただけでは
倒れてくれぬ。上部にロープを掛け、
何人かで引きながら切る。16時、幸いケガもなく予定した作業を終了。



挨拶をし、近くの「いたわりの湯」へ。体調すくれぬばくは、久米さんの車にのせてもらい、
30分早く戻り、休む。

(夕食) 里芋とイカの煮物、餃子、春菊とベーコンのサラダ、短文のはんぺん焼き、白
菜・大根おろし・青ノリの和之物
におそば。

食後、英子さんのケナダ合唱。ぼくは
母屋で寝るつもりだったが、寒さで心配し
皆と一緒に寝る。夜、またも咳。



1月21日(土)、晴。原田、山崎さんが
朝帰り。

正士、久米さんと三人、常森の茶園で
大雨のため崩れた土砂の整理。体調の

悪いばくは、箕(み)に土を入れる役目、正士さんとス米さんが運んでくれた。幸い茶園の中の土砂流出はわずかで、早目に引き上げる。

昼食は、お母さん(お母さん)の加わり、いつみさんの辛味のきいたカレー、リンゴのサラダ。



ほとんくいつみさんの夫君が迎之に来て、二人は帰宅。



ぼくは、正士、ス米さんに見送られ、今日は体調が悪く、英ちゃんも居ないので、

新幹線で東江さんと。途中、大井川を渡る直前、左側に紀文の工場を確認。総武線の車中では優先席に座らせてもらった。

～ 鈴木正士さんのお便りから ～

◆ 1月の猫の手の活動ありがとうございました。

その後体調はいかがですか、猫の手にとってなくてはならない身体。早くいつもの体調に戻ってほしいです。どうぞご自愛ください。

遅くなりましたが1月活動の写真をお送りします。プリンターの不具合で写真に縦線が入って申し訳ありません。プリンターを替之次回にはきれいな写真をお送りできると思います。三宅さんには厚正さんにお送りした分の他にビデオを2本追加してホームページののっけでもらうようお願いします。

2月は山草の集草、運搬、敷き均しと米糠の振りまきです。大変な作業ですがよろしくお願ひします。(12ページの事情で、残念ですが2月はお休みします)

～ 熱すぎる懸念 ～

ゼレンスキー大統領の要請に応え、欧米は主力戦車の供与に踏み切った。そして次なる要求は戦闘機。バイデン大統領は1月30日、F16戦闘機は供与しないと明言した。

ゼレンスキー氏の熱情はすごい。しかし、クリミア半島奪還まで戦いをやめないという、鼻白む。気持はわかるが、それでは戦争の終わりが見えず、核戦争にまだなほかぬばいからだ。熱情と自制心のバランスが欲しい。



2月1日 東京新聞心太の面